

公社等外郭団体改革進行管理表

公 社 名	公益財団法人 高知県スポーツ振興財団	主管課名	スポーツ課
役 割	高知県におけるスポーツの振興に資する県立スポーツ施設の管理運営、スポーツの普及・振興事業の実施、スポーツツーリズムの推進		
改革の方向性	・健全経営の確保 ・体育協会との役割分担の継続	主な事業内容	・スポーツの普及、振興の実施 ・県立春野総合運動公園、県民体育館、武道館、弓道場の管理運営(指定管理者)
令和2年度までの取組実績	<p>1 指定管理者としての取組</p> <p>①組織体制の確立や職員の適正な配置に努めた。 ②運営の効率化等による経費節減に努めた。 ③利用環境の整備や職員の資質向上による利用者サービスの向上に努めた。 ④広報活動の推進及びスポーツ関係団体へのPRによる利用促進に努めた。 ⑤スポーツ教室やスポーツイベントを積極的に開催し、施設の利用者増を図った。 R1年度実績(4施設で98教室、延べ13,061人参加) R2年度実績(4施設で82教室、延べ10,389人参加)</p> <p>2 スポーツの振興</p> <p>①維持会員(スポーツ振興資金の寄付者)の拡充 会員数: R1年度46団体及び個人 R2年度45団体及び個人 ②生涯スポーツの観点から総合型地域スポーツクラブに助成、支援を行った。 (R2年助成 3団体、457千円)</p> <p>3 スポーツ指導の支援事業(R2年度)</p> <p>①小学生・中学生・高校ソフトボール教室(春野総合運動公園) ②特別授業(四万十市下田中学校)</p> <p>4 スポーツ現場実習等への協力</p> <p>①高知工科大学の実習先として、1名の学生を受け入れた。 ②高知市立中学校・高等学校と連携・協力し、職場体験学習として、令和元年度は、合計32名の生徒を受け入れたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止になった。</p>	経営課題等	<p>【経営課題】</p> <p>1 指定管理者としての利点を活かした運営の効率化</p> <p>2 施設の利用促進及び利用者サービスの向上</p> <p>3 プロチームやアマチュアスポーツの合宿やキャンプの受け入れ先としての施設の充実</p> <p>4 昼間及び閑散期のスポーツ教室の開催</p>
<p>【令和3年度以降の取組方針】</p> <p>1 指定管理者としての取組</p> <p>①利用者へのアンケート調査などに基づく利用環境の整備や研修の実施を通じた職員の資質向上による利用者サービスの一層の向上 ②ホームページの活用等に基づく広報活動の推進及びスポーツ関係団体への積極的なPRによる利用促進 ③スポーツ教室やスポーツイベントについても、今まで以上に積極的に行なうことで、施設の更なる利用増を図る。 ④春野総合運動公園、スポーツ科学センター、県民体育館、武道館及び弓道場の機能充実を図り、利用者の生涯を通じた健康に寄与するとともに、美観に努め、多くの方の来館を促す。 ⑤管理する施設すべてが災害時の避難場所となっていることから、物品の確保をするとともに、実践的な避難誘導のための避難訓練を実施する。 ⑥新聞広告、チラシ及びSNSを活用し、スポーツ教室参加者の増加に努める。</p> <p>2 スポーツの振興及び普及活動</p> <p>①維持会員の拡充 ②総合型地域スポーツクラブが実施するスポーツ振興事業に対する助成及び支援 ③利用者ニーズに基づく主体的な事業活動の展開 ④観光コンベンション協会と連携し、全国的、全県的なスポーツ大会やイベントの開催を積極的に誘致する。 ⑤県内の公的スポーツ施設を良好な水準に維持するため、その整備を支援する事業を行う。</p> <p>3 パフォーマンスの向上支援事業</p> <p>専門機関等と連携し、アスリートの技術力向上のため、指導・助言を行う。</p> <p>4 スポーツ指導の支援事業</p> <p>スポーツ指導員が学校やスポーツ団体等の要請に応じて、できる限り訪問指導を行う。</p> <p>5 スポーツ現場実習等への協力</p> <p>大学の实習機関先として実習生の受け入れを積極的に行う。</p>			